

11 大泉中学校

所在地 〒939-8093 富山市大泉東町二丁目11-26

電話 076-425-4433

FAX 076-425-4434

ホームページ

検索

開校年月日 昭和28年(1953)4月1日

校長 牧 勇 人



QRコード



学校のあらし

本校は市の中心部に近く交通の便が比較的良好、商業・工業地区が一部にある古くからの住宅地域にあります。また、校区のほぼ中心をいたち川が流れ、両岸の桜並木が美しく落ち着いた環境にあります。

生徒数は142名で、個に応じたきめ細かな指導に力を注いでいます。また、総合的な学習の時間では、生徒参加型の「ライフスキル教育」を取り入れ、「生きる力」の育成を目指しています。生徒会が中心となって挨拶運動や地域清掃等のボランティア活動を企画し、意欲的に取り組んでいます。

※「ライフスキル教育」…人間関係づくりや、生活する上での必要なスキルを学ぶためのプログラム

教育目標

【校訓】正しく 強く 仲よく

【教育目標】

- 広い視野をもって正しく判断できる生徒
 - たくましく自主的に実践する生徒
 - 思いやりをもって互いに高め合う生徒
- このような生徒の育成を目指しています。
その目標に向けて「人間関係づくり」「人権教育・道徳教育」「確かな学力の定着」等に力を入れています。

学校行事

- 4月 始業式、入学式、授業参観、生徒総会
- 5月 資源回収、体育大会
- 6月 市中学校総合選手権大会、期末考査、教育相談
- 7月 「社会に学ぶ『14歳の挑戦』」、保護者懇談会、終業式
- 8月 資源回収、始業式
- 9月 市中学校新人大会、統一学校公開日、校外学習(2年)
- 10月 中間考査、生徒会役員選挙、文化活動発表会、修学旅行(3年)、校外学習(1年)、教育相談
- 11月 資源回収、期末考査
- 12月 終業式
- 1月 始業式、書初大会
- 2月 新入生説明会、教育相談、学年末考査
- 3月 卒業式、修了式

生徒数

(令和4年5月1日現在)

	1年	2年	3年	特別支援	合計
男子	19	22	23	12	76
女子	23	17	24	2	66
合計	42	39	47	14	142
学級	2	1	2	3	8

学校の歩み

- 昭和28年 開校
- 昭和44年 情報教育研究委託
- 平成元年 学校週5日制試行研究協力校に指定
- 平成7年 コンピュータ室の新設・グラウンド改修
- 平成11年 学校保健統計調査文部大臣表彰
- 平成14年 コンピュータ教育研究校に指定
- 平成16年 学童・生徒のボランティア活動普及事業推進校に指定
- 平成18年 租税教育推進国税庁長官表彰
- 平成19年 思春期のライフスキル教育モデル校に決定(3か年)
- 平成20年 思春期のライフスキル教育モデル校中間発表会開催
- 平成24年 全国人権擁護委員連合会から感謝状
第16回ボランティアスピリット賞
(生徒会・奉仕委員会)
- 平成26年 第18回ボランティアスピリット賞
(生徒会・奉仕委員会)
- 平成28年 第20回ボランティアスピリット賞
(生徒会・奉仕委員会)
キャリア教育文部科学大臣表彰
- 令和2年 学力向上市町村教育委員会プラン研究委託事業拠点校

工夫している本校の取り組み

- 自己有用感を高めるライフスキル教育を全学年で取り入れ、生徒が日常生活で経験する様々な困難を自分の力で乗り越え、前向きに生きていく力を育てています。
- 「学び合い」や「体験」を重視し、学ぶ楽しさや喜びが実感できる学習過程を工夫し、生徒の主体的に学ぼうとする意欲を高めています。
- キャリア教育の一環として、社会見学を行ったり、社会的、体験的な活動を通して自己理解を深めたりしています。
- 生徒会が中心となって、文化活動発表会や合唱コンクール等の学校行事を運営しています。また、全校生徒が気持ちよく学校生活を送れるように学校生活のきまりの見直し等に取り組んでいます。

自己有用感を高める「ライフスキル教育」の推進!

- 互いを思いやり、違いを認め、励まし合う人間関係を築いていくために、ライフスキル教育の授業を通して自己有用感を高める活動を取り入れています。
- 生きる力を育み、望ましい集団づくりやよりよい人間関係づくり等、生活する上での必要なスキルを学びます。



正しく 強く 仲よく

「気づき、考え、実行する生徒を目指す」それが**大泉中学校**です

小規模校だからできる!

自ら考え 表現する力を育てる授業

- 「学び合い」を重視した授業
- 情報活用能力の育成
- ティームティーチング等による個に応じた指導

きめ細かな指導



生徒同士 生徒と先生との深い信頼関係

- ライフスキル教育
- 日常的な教育相談
- スクールカウンセラー、スクールサポーター、校内適応指導教室の設置等、充実したサポート体制

主体性を育てる授業や自主学習の場の設定

- 「学び合い」「体験」を重視し、学ぶ楽しさや喜びが実感できる授業づくりに努めています。
- ICT機器(一人1台端末等)を学習のツールとして活用し、思考を広げたり深めたりしていただけるよう授業を工夫しています。また、学級活動や生徒会活動等でも積極的に活用しています。
- 学習支援ソフトの活用や、朝、昼休み、放課後の自主学習教室(寺子屋)によって、学習習慣の確立と基礎学力の定着を目指しています。

